



EXCELLENCE IN COMMUNICATION

2023年10月期

決算説明レポート

- I 2023年10月期 業績サマリー
- II 2024年10月期の取組み
- III 成長ビジョン
- IV 2024年10月期業績予想・株主還元
- V 参考資料

サマリー

■ アフターコロナを見据えた成長戦略を着実に実行し、売上高は過去最高を達成

- ・アフターコロナを見据えて着実な成長を図るため、シェア拡大、機能拡大、領域拡大の3つの戦略を着実に実行した結果、売上高は過去最高を達成した。
- ・主力で利益率の高いインクジェットプリントの受注が好調に推移し、営業利益も前期比20.2%アップと大幅な増益となった。

■ 2023年10月期 業績サマリー

- ・売上高31.7億円。営業利益4.5億円。売上高は業績予想をわずかに下回るものの、営業利益は業績予想を上回る結果となった。
- ・人員増強や知識と情報の共有による営業体制強化、設備投資による生産機能拡大、中量産型の印刷案件やオーダーグッズ制作等の新規事業展開、ARの技術を使った新たなサービスの提供を積極的に推進した。

■ 2024年10月期 業績予想と今後の取組み

- ・着実な成長を目指し、引き続き、シェア拡大、機能拡大、領域拡大の3つの成長戦略を継続することで、売上高は過去最高を更新する34.0億円、営業利益は4.9億円を予想。
- ・期末配当金は7円増配の50円を予想。



株式会社ビーアンドピー代表取締役の和田山でございます。

本日は、当社2023年10月期決算説明をご視聴いただき、誠にありがとうございます。それでは、当社2023年10月期決算説明を始めさせていただきます。

目次

- I 2023年10月期 業績サマリー
- II 2024年10月期の取組み
- III 成長ビジョン
- IV 2024年10月期業績予想・株主還元
- V 参考資料



本日はご覧の5つのトピックスに合わせてましてご説明させていただきます。

I 2023年10月期 業績サマリー

▶ I 2023年10月期 業績サマリー

II 2024年10月期の取組み

III 成長ビジョン

IV 2024年10月期業績予想・株主還元

V 参考資料



はじめに2023年10月期の業績サマリーをご説明申し上げます。



2023年10月期の実績は、売上高31億7,400万円、前期比8.9%増収、営業利益4億5,200万円、前期比20.2%増益、当期純利益は3億円、前期比24.8%増益となり、売上高は過去最高を記録し、営業利益、その他各段階利益とも大幅な増益となりました。

当期の業績のポイントをご説明いたします。

当社はアフターコロナを見据えて着実な成長を図るため、シェア拡大、機能拡大、及び、領域拡大の3つの戦略を実行した結果、売上高は案件の期ずれがあり業績予想をわずかに下回ったものの、利益率が高いインクジェットプリントの受注が順調に推移したことや、M&Aの実行時期のずれにより関連費用が発生しなかったこと、生産現場での人員配置の適正化が進み労務費が予想を下回ったことにより、営業利益は業績予想を上回る結果となりました。

営業体制については、主要な事業拠点である大阪、東京、横浜の各エリアでは、営業人員の増強を積極的に進めるとともに、情報や知識の共有・連携を強化することにより人材育成効果の最大化を図ると同時に、顧客満足度の向上に努めた結果、新規顧客、既存顧客ともに堅調に推移いたしました。

生産体制については、高収益体質の生産体制の構築に向けた投資として、5月に横浜と大阪において最新カットマシンの増設を実施し、生産機能の拡大及び生産効率の向上を実現しました。

また、デジタル領域への取り組みとして、本年6月に株式会社OnePlanetとAR技術に関する業務提携を行い、セールスプロモーション事業における新たなサービスとして

「Promotion AR」を開始しました。東京ビッグサイトで開催された「販促EXPO

【夏】」への出展を通じて多くの来場顧客に対して本サービスを体験していただき、プロ野球のイベントで活用していただく等、積極的な提案活動や付加価値を高めるための機能拡大を進めており、将来に向けた成長投資を積極的に行いました。

I 2023年10月期 P/Lサマリー



- ・売上高は前期比8.9%の増収。
- ・増収効果に加え、利益率向上策も寄与し、**各段階利益が大幅に増加。**
- ・**営業利益率が14.2%に大きく上昇。**

(単位：百万円)	2022年 10月期実績	2023年 10月期実績	対前期比 増減率 (%)	2023年 10月期 進捗計画	達成率 (%)
売上高	2,915	3,174	8.9%	3,200	99.2%
売上総利益	1,194	1,339	12.1%	1,304	102.7%
利益率	41.0%	42.2%	—	40.8%	—
営業利益	376	452	20.2%	409	110.5%
利益率	12.9%	14.2%	—	12.8%	—
経常利益	377	453	20.1%	409	110.8%
利益率	12.9%	14.3%	—	12.8%	—
当期純利益	240	300	24.8%	262	114.5%

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

次にP/Lのサマリーです。

先ほどご報告いたしましたように、当期の売上高は31億7,400万円、営業利益は4億5,200万円、経常利益以下はご覧の通りとなりました。利益率が高いインクジェットプリントの受注が順調に推移したことや、生産現場での人員配置の適正化が進み労務費が抑制できたことにより、営業利益率は14.2%まで上昇いたしました。

I 財務指標



経済不安な状況でも一定の利益を確保し**強固な財務基盤を維持。**
自己資本利益率は、**9.9%に上昇。**

(単位：百万円)	2019年 10月期	2020年 10月期	2021年 10月期	2022年 10月期	2023年 10月期
純資産額	2,588	2,613	2,752	2,916	3,120
総資産額	3,160	3,025	3,191	3,517	3,786
自己資本比率	81.9%	86.4%	86.3%	82.9%	82.4%
自己資本利益率	14.1%	5.4%	7.1%	8.5%	9.9%

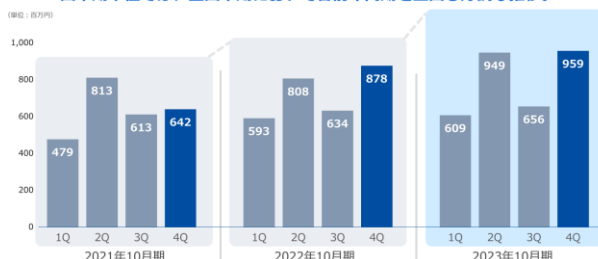
© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

5

財務指標に関しては、強固な財務基盤を維持しております。一方、自己資本利益率は9.9%となっており、今後も資本効率を意識して同程度の率を維持していきたいと考えております。

I 四半期単位の売上推移

顧客ニーズに合わせた幅広い営業展開により良好な業績進捗。
 当社の顧客特性上、第2四半期および第4四半期に売上が拡大する傾向。
 四半期単位では、全四半期において各前年同期を上回る好調な推移。

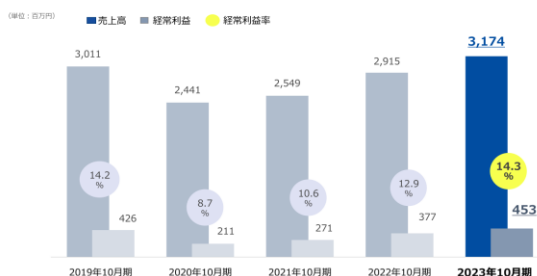


続きまして、各四半期の売上の推移でございます。

当期におきましては、顧客ニーズに合わせた幅広い営業展開により、良好な業績進捗となりました。当社の顧客特性上、第2四半期および第4四半期に売上が拡大する傾向がありますが、四半期単位では、全四半期において各前年同期を上回る好調な推移となり、通期では過去最高の売上高となりました。

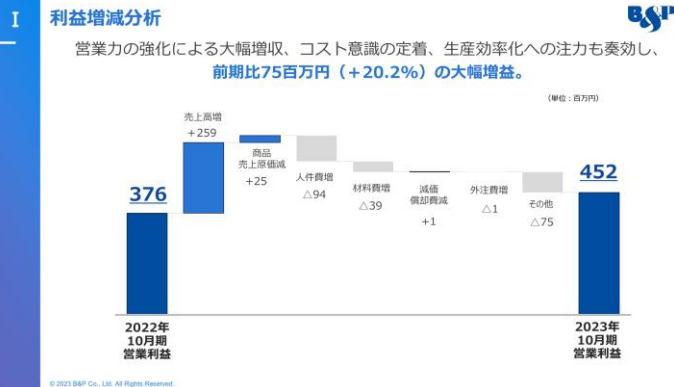
I 5年間の業績推移

業務効率化および生産性向上等の施策が功を奏し
 売上は過去最高を更新し、利益率は14.3%まで上昇



次に5年間の業績推移でございます。

当期は営業体制強化、業務効率化や生産性向上などの各種取り組みの実行により、売上高は過去最高を更新し、利益率は14.3%まで上昇しました。



次に利益増減分析についてご説明申し上げます。

当期は営業力強化による大幅な増収に加え、コスト意識の定着、生産効率化への注力が功を奏し、営業利益は前期に比べて7,500万円、20.2%の大幅な増益となりました。

I 貸借対照表

・ 強固な財務基盤を維持。

(単位：百万円)	2022年10月期	2023年10月期	増減額
流動資産	3,245	3,501	+255
現金・預金	2,499	2,738	+238
売掛金	609	598	△10
その他	136	163	+27
固定資産	272	285	+13
有形固定資産	88	97	+8
無形固定資産	33	20	△12
投資その他資産	150	168	+17
資産合計	3,517	3,786	+269

	2022年10月期	2023年10月期	増減額
流動負債	447	513	+66
買掛金	192	202	+10
固定負債	153	152	△1
負債合計	600	666	+65
純資産合計	2,916	3,120	+204
資本金	286	286	±0
資本剰余金	276	276	+0
利益剰余金	2,360	2,582	+221
自己株式	△5	△23	△18
負債純資産合計	3,517	3,786	+269

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

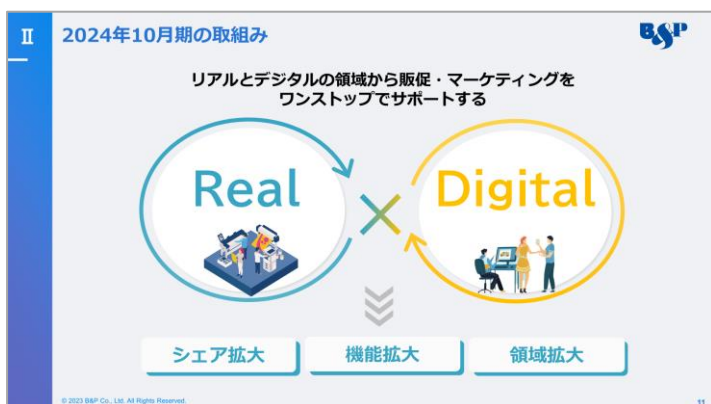
次に貸借対照表の各数値でございます。前年期末に比べて、特段大きな変動はなく、引き続き強固な財務基盤を維持しており、自己資本比率は82.4%となっております。

II 2024年10月期の取組み

I	2023年10月期 業績サマリー
▶ II	2024年10月期の取組み
III	成長ビジョン
IV	2024年10月期業績予想・株主還元
V	参考資料



次に2024年10月期の取組みについてご説明いたします。



当社は、デジタル技術の進歩による広告媒体の変化への対応として、「リアルとデジタルの領域から販促・マーケティングをワンストップでサポートする」ことを目指して各種取組みを実行してまいりました。

2024年10月期においても着実な成長を図るため、これまで培ってきたモノづくりの技術やノウハウを活かして、①シェア拡大、②機能拡大、③領域拡大の3つの戦略を重点項目として掲げ、継続して着実に実行いたします。

II さらなる成長のための3つの戦略

① シェア拡大戦略 ② 機能拡大戦略 ③ 領域拡大戦略

主力の大阪、東京において営業エリアを拡大
2025年の大阪・関西万博の広告需要の獲得を目指す

名古屋、福岡、京都
顧客基盤の構築に向け
リード数の多いエリア
からシェアを拡大

名古屋営業所
福岡営業所
京都営業所

大阪本店 **大阪地区**
既存エリアでの営業に加え
新規2エリアに対しても開拓を開始

東京本社 **東京地区**
特に受注拡大の
余地が大きい

横浜
ファクトリー
営業人員を増強し、
新規顧客獲得を強化

© 2023 BSP Co., Ltd. All Rights Reserved. 12

シェア拡大戦略については、主力の大阪、東京において営業エリアの拡大を行います。特に市場規模を考慮すると受注拡大の余地が大きい東京地区において、営業人員を増強して新規顧客獲得活動を強化し、顧客占有率の向上を目指します。名古屋、福岡、京都については顧客基盤を固めて利益貢献するべく、シェア拡大を目指します。また、2025年の大阪・関西万博の販促広告需要の獲得を、重要課題として進めてまいります。

II さらなる成長のための3つの戦略

① シェア拡大戦略 ② 機能拡大戦略 ③ 領域拡大戦略

デジタルサイネージ事業に新たなラインナップが追加、デジタルクリエイト事業に

デジタルサイネージ **デジタルクリエイト**

デジタルサイネージ ハード機器販売

デジタルサイネージ 配信システム

ARを使った付加価値サービスの提案を開始

デジタルサイネージ + Promotion AR

デジタルサイネージ・配信システム + 提案サポート

従来のハード機器販売、動画配信システムの提供に加えARを使ったサービスや販促活動をより効果的にする
デモ用動画やARの作成をラインナップに追加

© 2023 BSP Co., Ltd. All Rights Reserved. 13

機能拡大については、デジタルサイネージ事業をデジタルクリエイト事業に名称変更し、従来のハード機器販売、動画配信システムの提供に加えて、ARを使った付加価値サービスの提案を積極的に行うとともに、顧客の販促活動をDX化するためのデモ用動画やARの作成を行います。

II さらなる成長のための3つの戦略

① シェア拡大推進 ② 機能即大拡充 ③ 領域拡大推進

IPライセンスビジネスへの本格展開を目指す
 これまでに蓄積した制作実績を活かし、営業体制と製造体制を素早く整える。

<p>IPコンテンツ領域でのシェア拡大を加速</p> <p>成長市場のIPコンテンツ分野への参入を目指し設備増強と協力会社との連携強化</p> <p>IPグッズ類</p>	<p>グッズ提案営業のエキスパート育成へ</p> <p>体制強化 全社で既成可能な体制を構築</p> <p>資料充実化 提案資料の充実化</p> <p>提案力向上 ARや特殊インク等、他コンテンツも掛け合わせた組み合わせでの提案</p>
--	--

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 14

領域拡大については、オーダーグッズ制作事業で蓄積した制作実績を活かして知的財産コンテンツの分野への本格展開を目指します。また、新規事業についてはこれまで専任営業が独自で営業活動を行ってまいりましたが、今後はその経験やノウハウを全営業担当に共有し、専任営業に加えて全国の拠点の営業担当が新規事業商材の提案を行い、さらなる拡販を進めます。

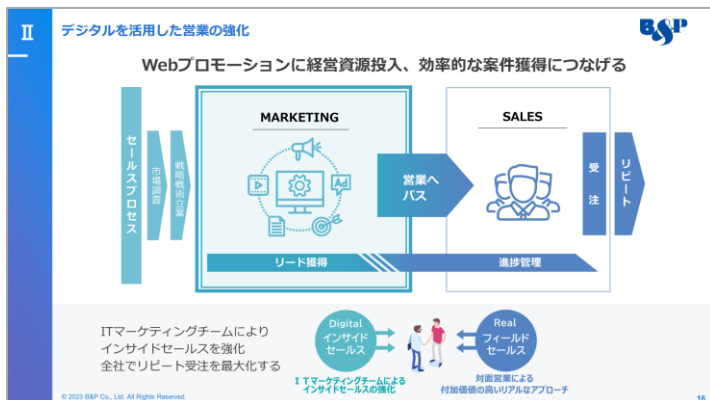
II SDGsに関する取り組み

SDGs推進のため、環境へ配慮したエコメディアを使った商品の拡販強化

<p>Re-board (リボード)</p> <p>リサイクル可能な紙100%からできており、原材料であるパルプも間伐材のみを使用。</p> <p>環境負荷低減 コスト 耐久性</p>	<p>LIMEXペーパー</p> <p>石灰石が主原料となり、ポスターなどの広告物として使用でき、高効率でアップサイクルできるのが特徴。</p> <p>環境負荷低減 コスト 耐久性</p>	<p>NOALX (ノアルックス)</p> <p>PET素材の複合版で、従来の厚外看板などで使用されていたアルミ複合版と比較して、処分時に排出されるCO2を35~65%削減可能。</p> <p>環境負荷低減 コスト 耐久性</p>
---	---	--

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 15

SDGsの推進のため、エコ商材として顧客からの関心が高い、環境に配慮した素材を使った商品の販売体制を強化いたします。



ウェブプロモーション事業については、これまでのECサイト運営のノウハウと実績を考慮した結果、WEB集客活動に経営資源を集中することとし、当社が得意とする対面営業によるリピート受注の獲得に繋げることで、新規顧客獲得活動をサポートします。

Ⅲ 成長ビジョン

I 2023年10月期 業績サマリー

II 2024年10月期の取組み

▶ Ⅲ 成長ビジョン

IV 2024年10月期業績予想・株主還元

V 参考資料



次に今後の成長ビジョンについてご説明いたします。

III 2つの事業アプローチで多彩なサービスを提供

販売商品別から顧客特性に合わせた2事業体制でリアル×ネットの強みを活かした事業拡大戦略を推進

2022年10月期 2023年10月期 2024年10月期 ...

- インクジェットプリント事業
- デジタルサイン事業
- デジタルプロモーション事業

セールスプロモーション事業
販売促進用広告の事業領域
セールスプロモーション営業、中量・大量産印刷、オーダーグッズ制作

ウェブプロモーション事業
ネット・デジタル事業領域

マーケティング注カへ

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 18

当社では、2023年10月期より事業の再編を行い、取引先に複数商材、ソリューションをワンストップで提案できるように、セールスプロモーション事業、ウェブプロモーション事業の2区分に再編し、顧客特性に合わせた事業区分として当社サービスの拡大に努めてまいりましたが、今後はウェブプロモーション事業は、WEB集客活動に経営資源を集中させ、当社が得意とする対面営業によるリピート受注の獲得に繋げることにより、新規顧客獲得（かくとく）活動をサポートするマーケティング活動に注力してまいります。

III M&A戦略の強化・推進

中長期的な企業価値向上、将来への投資に資金を有効活用するため、M&A戦略を実施

当社はかねてよりM&A戦略を推進する方針のもと、社内でプロジェクトチームを編成し、継続的に各種情報収集や調査を実施しております。専門会社から提供を受けた案件や当社が独自に入手した案件等、複数の案件の検討を行っております。引き続き、当社の事業との相乗効果、成長性、利益率等の観点から、投資案件の調査を進めてまいります。

☑ 企業の選定ポイント

- 経営資源**
 - 当社の事業活動に必要な経営資源（人材、人材、技術、設備、顧客、商圏など）を有している企業
 - 当社の有している経営資源（人材、人材、技術、設備、顧客、商圏など）を活かせる企業
- 利益貢献度**
 - 当社グループの利益率向上に貢献する企業
 - 買収後のシナジー効果や組織力強化により利益率アップ

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 19

M&Aは、今後の当社のさらなる成長及び企業価値の向上を実現させるためには、非常に重要な戦略と考えております。引き続き社内で編成したM&Aのプロジェクトチームによる各種情報収集や調査を積極的に行い、当社の事業との相乗効果、成長性、利益率等の観点から投資案件の調査を進めてまいります。

IV 2024年10月期業績予想・株主還元

- I 2023年10月期 業績サマリー
- II 2024年10月期の取組み
- III 成長ビジョン
- ▶ IV 2024年10月期業績予想・株主還元
- V 参考資料



次に2024年10月期の業績予想と株主還元方針についてご説明いたします。

IV 業績予想



着実な成長を目指し、シェア拡大・機能拡大・領域拡大の3戦略を継続。
前期比で増収増益を計画。過去最高を更新予定。

(単位：百万円)	2023年10月期 (実績)	2024年10月期 (予想)	増減率 (%)
売上高	3,174	3,400	+7.1%
売上総利益	1,339	1,412	+5.4%
売上総利益率	42.2%	41.5%	—
営業利益	452	492	+9.0%
営業利益率	14.2%	14.5%	—
経常利益	453	492	+8.7%
経常利益率	14.3%	14.5%	—
当期純利益	300	331	+10.4%

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

21

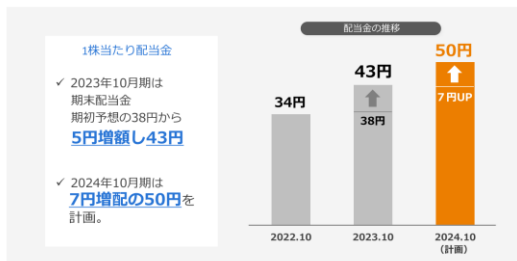
2024年10月期の業績予想は、売上高34億円、前期比7.1%の増収、営業利益4億9,200万円、前期比9.0%の増益、その他各段階利益につきましてもご覧の通り増益を計画しております。

業績予想の前提条件についてご説明いたします。国内の経済状況は、資源価格の高騰や円安の進行等の懸念材料があるものの、消費活動の拡大やインバウンド需要の拡大等により回復傾向が続くものと想定されます。当社を取り巻く経済環境は新型コロナウイルス感染症の影響から回復しており、2024年10月期においても、状況に大きな変化はないものと考えます。

当社は着実な成長を図るため、先ほどご説明いたしました①シェア拡大、②機能拡大、③領域拡大の3つの戦略を掲げ、着実に実行いたします。この結果、通期の売上高は、前期に続き、過去最高の更新を想定しております。

IV 株主還元

株主への利益還元は経営上の重要施策であり
適切な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持継続



2024年10月期の配当計画は、7円増配の50円といたします。
今後とも、経営基盤の強化を最優先とし、将来の成長のための投資資金を考慮の上、株主還元を実施してまいります。

V 参考資料



最後に参考資料です。

V 事業概要

企業理念 より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献する

事業内容 販売促進用サインディスプレイの制作、屋外用大型サイン・広告の制作
建物の内装、インテリア用品の出力、制作
広告企画および制作に関する提案業務
デジタルサイネージソリューションの提案業務
EC運営の総合支援、webプロモーションの提案

代表者 代表取締役社長執行役員 和田山 朋弥

設立 1985年10月

資本金 2億8,600万円

本店 大阪府大阪市西区

事業所 東京、横浜、名古屋、京都、大阪、福岡

従業員数 200名（2023年10月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：7804）

上場日 2019年7月24日

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 24

こちらは、当社の事業概要を示しております。

企業理念は「より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献する」でございます。当社は、より良い働きを通じてお客さまへ最高のサービスを創り出し、すべての従業員、及び、その家族の「経済的安定」「精神的な豊かさ」、そして「働きがい」を追求し、幸せにします。

また、会社が成長していくことで、ステークホルダーとしての株主価値も最大化されていくと考えております。人と企業の成長を支え、世の中の人々が豊かに生活できる社会づくりに最大限貢献してまいります。

V 拠点紹介

拠点間で連携した営業・生産を実現しています

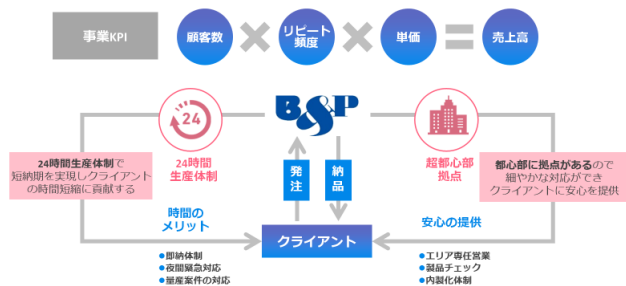


次に当社の拠点についてご説明いたします。主要拠点といたしましては大阪本店、東京本社、さらに国内最大規模のインクジェット生産体制を有する横浜ファクトリーでございます。東京にはショールームを併設しており、最新のデジタルサイネージ機器やオーダーグッズ製品など弊社商品をご覧いただけます。

また、名古屋営業所、福岡営業所は、一層の顧客開拓を進めており、昨年11月に開設しました京都営業所とともに、将来的には主要拠点と同等の規模まで成長させる考えでございます。

V ビジネスモデル

「独自の付加価値サービス」を提供し、発注リピーターを増やす



次に当社の事業KPIについてご説明いたします。

当社のKPIは、顧客数×リピート頻度×単価でございます。より多くのお取引先様に繰り返し利用していただき、常に付加価値の高い商品・サービスを提供し続けることが会社を成長させる重要なポイントであると考えております。

V インクジェットプリントサービス

全国都心部の拠点に生産設備を配置
24時間生産体制で短納期を実現しています

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 31

こちらの写真は国内最大規模のインクジェット生産拠点である横浜ファクトリーでございます。他の拠点も同様に都心の拠点に多数のインクジェットプリンターを設置し、短納期のサービスを展開しております。

V インクジェットプリントサービス

100台以上の生産設備で多種多様な製品を制作
顧客要望に沿った最適な商品の提案しています

- Mimaki 3DUJ-553 フルカラーの高精細インクジェット3Dプリンター
- HP LX360 フラッグシップインク出力機
- EPSON P20050 本格インク出力機
- Mimaki JFX500 フラットベッドUVインク印刷機
- EPSON 580650 高精細インク出力機
- FOTORA XLD カラーインクジェット (ローコスト印刷機対応)
- EFI Versant スーパーワイドUVインク出力機
- UV55-320 ワイドUVインク出力機
- Kongoholy XP 超高精度マルチカラーインクジェット

他にも、Mimaki UVJ500 (UV機)、Mimaki JV300 (油彩機) 等、合計約500台の出力機を保有しています。

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 32

次に私どもが保有する生産設備のうち、主要なものを記載させていただいております。設備の台数、種類は業界の中ではトップクラスでございます。

ご覧のようなインクジェットプリンターや加工設備を100台近く保有しており、24時間生産体制にてお客さまへ高品質な商品を短納期でお届けするサービスを展開しております。

V デジタルクリエイト

2つの業界に対して商品を展開しています

SOLUTION 01
販売促進向けデジタルサイネージ

デジ棚

“デジ棚”のコンセプトはサイネージを置くのではなく“棚を動かす”という発想です。まさに「動く商品棚」です。動画コンテンツの配信・運用まで行います。

SOLUTION 02
インテリア分野向けデジタルサイネージ

デジ窓

“デジ窓”は「世界の風景を連れてくる」をコンセプトに窓のないオフィスやカフェや会議室に彩りと安らぎをもたらす新しいデジタルサイネージです。

© 2023 BSP Co., Ltd. All Rights Reserved. 29

デジタルクリエイト事業は、デジタルサイネージやコンテンツ配信システム、ARなど様々なデジタルソリューションで顧客のDX化をサポートします。

V デジタルクリエイト

セールスプロモーション事業の更なる成長を求め「Promotion AR」の提供開始

AR技術を活用した様々なソリューションを提供する株式会社OnePlanetと業務提携し、セールスプロモーション事業における拡張現実（AR）技術を活用した新たなサービス「Promotion AR」を開始いたしました。

Promotion AR

新サービス「Promotion AR」概要
販促促進用広告物に印刷した二次元バーコードをスマートフォンで読み込むことで、アプリをインストールすることなくAR（拡張現実）の世界を体験できるサービスです。

「Promotion AR」はインクジェットプリント販促促進用広告物との親和性が高く、販促促進用広告物の付加価値を高めることができることから、本サービスをセールスプロモーション事業の大きな販促促進ツールに成長させサービスを拡充してまいります。

サービス紹介動画はこちら

「リアルとデジタルの融合」の表現

活用方法・コンテンツ作成の短捷
新たな消費者体験・付加価値の向上
AR技術の提供・指導

© 2023 BSP Co., Ltd. All Rights Reserved. 30

当社は、AR技術を活用した様々なソリューションを提供する株式会社OnePlanetと業務提携し、セールスプロモーション事業における拡張現実（AR）技術を活用した新たなサービス「Promotion AR」を開始し、ARを使った付加価値サービスの積極的な提案を進めております。


「Promotion AR」は、当社が制作する販促広告物との親和性が高く、広告物の付加価値を高めることができることから、本サービスをセールスプロモーション事業の大きな販促ツールに成長させサービスを拡充してまいります。

V ウェブプロモーション

B&P

**利便性を追求した
サインディスプレイ専門の通販サイト『インクイット』**

昨今の社会情勢に対応し利便性を追求した
短納期対応可能な最新インクジェットプリンターで制作するハイクオリティな広告印刷物



サービスの特長

オンラインで
相談可能

最先端インク
ジェットプリン
ターによる24
時間生産体制

サービス名：「Ink It」(インクイット)
サービスサイト：<https://www.inkit.jp/>

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 35

当社が運営するサインディスプレイ専門サイト「インクイット」では、24時間生産体制の強みを活かした短納期対応で最新インクジェットプリンターで制作するハイクオリティな広告印刷物の販売サービスを展開しております。

V 免責事項



将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っておりまして今後の見通しに関する発表等につき、開示規程により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

37

最後は免責事項といたしまして、将来の見通しに関する注意事項を記載させていただいております。

V IRに関するお問い合わせ



<お問い合わせ先>

株式会社ビーアンドピー 経営管理部

Email: ir_bp@bandp.co.jp

<https://www.bandp.co.jp/ir/>

© 2023 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

38

2023年10月期の決算説明は以上でございます。最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。

この動画に関するご質問がございましたら、こちらに表示されておりますメールアドレスまでご質問をお送りください。

今後とも当社へご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。